

事業活動実績報告書

施 設 名	和光幼稚園
教 育 理 念	「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う

1 事業名	和太鼓教室
2 実施期間	令和 7年 5月 14日 ～ 令和 8年 3月 4日

3	取組概要	（取組日） 令和 7年 5月 14日 【和太鼓教室1回目】 今年の年中児の和太鼓教室が始まりました。まずは準備として、指の体操・腕の体操・肩の体操などを行います。和太鼓は、右手左手をリズムに合わせて動かすので、脳からの伝達が体に送られているかな？1年を通して活動します。今年度から、練習用のバチを用意しました。子ども達も持ちやすく、叩き易そうです。 	
		今年の初回は、いろいろな種類の和楽器を叩いて楽しんだり、新たな楽器の音色を感じました。和太鼓は、まずは自由に叩きます。  	
		（取組日） 令和 7年 6月 11日 【和太鼓教室2回目】 和太鼓のバチの持ち方を教えてもらいます。上過ぎてても下過ぎてても、しっかりした音が叩けないよ。和太鼓は、しっかり握る握力も大切です。 	
		（取組日） 令和 7年 7月 22日 【夏祭り】 毎年夏祭りには、和太鼓教室講師の小泉先生に盆踊りの曲にのせて、和太鼓を叩いていただく。曲は「和光音頭」と「ドラえもん音頭」。今年も園庭とホールで1曲ずつ演奏していただき、子ども達は本物の和太鼓の音色・リズムが響く中で、和太鼓を囲んで、盆踊りを大いに楽しみながら踊ることができた。日本古来の夏の風物詩である盆踊りを、生の和太鼓の演奏とともに、雰囲気味わい、楽しむことができた。子ども達のお神輿の練り歩きの際にも、笛と太鼓の生演奏もしていただき、子ども達はお祭りの雰囲気より味わうことができた。 	

3	取組概要	(取組日) 令和 8年 1月 13日 【獅子舞・和太鼓鑑賞会】 小泉先生所属「ひさおの会」の皆さんが、日本の伝統文化である獅子舞の演舞と迫力ある和太鼓演奏を披露してくださいました。獅子舞を怖がる子もいたが、熱心に見入って、みかんを食べるシーンでは、笑いが起きる。和太鼓演奏では、会場中に響き渡る和太鼓の力強い音や体に伝わってくる太鼓の振動に、子ども達も保育者の私達も圧倒され、大変感動した。演奏後には、和太鼓を叩く体験があり、どの学年の子も夢中で叩いていた。	
			
		(取組日) 令和 8年 1月 23日 ~ 令和 年 月 日 【和太鼓教室3学期】 和太鼓の迫力ある音色を体験した子ども達。和太鼓を叩く時に力強さが出てきた。和太鼓演奏鑑賞後は、しっかり握って叩くイメージが出来たようだ。「ドドンコドン」のリズムに合わせて、叩ける子も増え、右手と左手の和太鼓の叩き方をできる子も増えた。またリズムに合わせることが難しい子も、一生懸命に叩き方をマスターしようと取り組む姿があった。順番を待っている間も、各自が練習しているが、熱中している子も多く、軽快な音色や叩く楽しさを感じている姿が見られた。	
		(取組日) 令和 8年 1月 【自由あそびの中で】 今年度は練習時も木のバチでしようと考えていたが、子ども達の握力を考慮し、初めは軽い練習バチで行い(すっぽ抜けてケガをする危険性を配慮)、しっかり持てるようになってから木のバチで叩く事に変更した。活動を進める中で、今年度の和太鼓教室は白い練習バチでいくという事になったので、少し準備してあった木のバチと練習用パットを自由あそびの中で出してみた。すると何人もの子が叩き、和太鼓に興味関心がある男児が45分間ずっと叩き続けた姿には驚いた。	
		  	

3	取組概要	(取組日) 令和 8年 2月 6日 【和太鼓教室参観日】 和太鼓教室の参観日には、多くの保護者の方が来園してくださいました。まずは指や腕、肩の準備運動を一緒にしてから、子ども達が日頃の様子を発表した。少し緊張したかもしれないが、どの子も力強く和太鼓を叩いていた。中には、軽快なリズムに乗せて、しっかりと和太鼓を叩ける子もいた。お友達の演奏もみんなで楽しむ姿があった。	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
		(取組日) 令和 8年 3月 4日 【最終日】 和太鼓教室最終日、今年の年中児は、最終日にグンと上達した。右手と左手の使い方もバッチリ！で、楽しんで叩く姿が多く見られた。全員が叩き終わり、「もう一回叩きたい人？」と講師が言ったところ、「はい！」と何人もの子が手をあげ、和太鼓を楽しんで叩く姿があった。	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
		(取組日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの

効果検証報告書（継続事業用）

施 設 名	和光幼稚園				
教 育 理 念	「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う				

事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康 ○	人間関係	環境	言葉	表現 ◎

1 事業名	和太鼓演奏				
2 事業概要	和太鼓教室の講師を、本園の行事に招き、本格的な和太鼓の演奏を披露してもらうことで、日本文化に触れるとともに、和太鼓の素晴らしさを伝え、年中児が毎週行っている「和太鼓」の保育において、意欲的に和太鼓をより楽しく叩くことへ繋げていく。				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	全学級 主として年中クラス (クラス名: はと組)			54 名	

計 画 時	4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 本園、和太鼓教室の講師である小泉氏が、園行事「夏祭り」で、子どもたちが踊る曲に乗せて、和太鼓ならではの軽快なリズムを本格的に演奏する。毎月子どもたちと練習している和太鼓の本物のリズムと音色を披露する。 「獅子舞・和太鼓鑑賞会」では、小泉先生率いる和太鼓奏者の方々が、日本の伝統文化である獅子舞の演舞と本格的な和太鼓演奏を子どもたちに披露し、和太鼓の迫力ある音やリズムを伝える。和太鼓教室においても、いろいろな種類の和太鼓を叩く。			
	事業後 4についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 今年度の講師の和太鼓の演奏も、和太鼓本来の音色やリズムを子ども達に直に伝えることができ、会場全体や耳や体に響き渡る感覚を子ども達が実体験することができた。また、近年少なくなった盆踊り・獅子舞や和楽器・和太鼓演奏会は、日本の伝統文化に触れる良い機会にもなっている。今年度も、生演奏でしか味わうことのできない、振動や迫力を子ども達に体験させることができた。その後の和太鼓教室で力強く和太鼓を叩く姿や、叩きたいと思う意欲に繋がっている。			

計 画 時	5 事業のねらい	本園は、「健康」と「表現」の領域を教育の2大柱とし、子どもたちの心身ともに健やかな成長を促すとともに、個性豊かな感性を養っていくことを特色としている。 和太鼓教室は、本園において長年行われている保育である。日本の文化や伝統に触れながら、リズム感を養うとともに、和太鼓の響きを十分に味わっている。本物の和太鼓演奏を聴く機会をもつことで、和太鼓により興味や関心を持ち、年中児においては、毎月の保育の中で行っている和太鼓を、より楽しくリズムを叩いたり、新しいリズムに挑戦したい気持ちが芽生えるようになっていく。また、本物の和太鼓の音を感じることで、より力強く太鼓が打てるようになっていく。昨年、一昨年度の和太鼓演奏会で、子ども自身が大小さまざまな和太鼓を叩くことを体験し、大変楽しかったとともに、和太鼓に対して興味も湧いてきた。いろいろな種類の和太鼓に親しむとともに、実際に叩くことで、日本文化に触れ、音色や感触を楽しむ。			
	事業後 5についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 本園において、和太鼓教室は「健康」と「表現」の領域の保育において、特色のある保育活動になっている。近年の子ども達にとって、和太鼓はあまり近い存在とは言えず、和太鼓を知るために、一昨年からは盆踊りや獅子舞鑑賞会で和太鼓の演奏を取り入れている。その結果、楽しいリズムを知ったり、迫力ある音を実感したりする中で、子ども達のやる気や意欲に繋がっている。音をしっかり鳴らすためには、強く握ったり、腕を上から振り下ろすなど、体力的な向上にも繋がっていきたいが、近年の子ども達のバチを握る力の低下を懸念し、今年度は練習用の軽いバチと、握り慣れてから使う木のバチを用意したが、子ども達の進み具合に寄り添った結果、今年度は軽いバチを中心に練習することとなった。あそびの中で、木のバチも使用したところ、子ども達の興味関心が高かったので、来年度の課題にしたい。			

計
画
時

6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等
	夏祭り(7月22日)：園の行事である夏祭りに、和太鼓講師の小泉氏を招き、子どもたちが踊る曲に乗せて、和太鼓ならではの軽快なリズムを本格的に演奏していただく。子どもたちは、和太鼓の演奏の入った曲で、日本古来の夏の風物詩である盆踊りの雰囲気味わいながら、楽しんで踊ってほしい。お神輿でもお囃子の演奏を願ひし、日本ならではのお神輿の雰囲気味わってほしい。 獅子舞・和太鼓鑑賞会(1月13日)：和太鼓講師の小泉氏率いる和太鼓奏者の方々が、日本の伝統文化である獅子舞の演舞と本格的な和太鼓演奏を披露し、子ども達には和太鼓ならではの迫力ある音やリズムを味わってほしい。子どもたちに、自分もあんなふうに叩いてみたい、と思う気持ちへ繋げる取り組み。いろいろな種類の和太鼓を叩くことで、より楽しく、また日本文化にもより触れることができる。
	上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点
	表現の領域の(6)音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう、という「内容」に関して、本園では和太鼓教室での保育活動を通して、園児がリズム楽器である和太鼓を叩く楽しさを味わっている。和太鼓という事で、夏祭りや和太鼓鑑賞会において、本物の音を一人一人が体全体で感じながら日本文化に触れる機会を設けることにより、さらに子ども達が和太鼓という楽器の音の大きさやリズムを感じながら楽しく叩けるように、取り組みを発展させてきた。

事業
後

6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 近年「夏祭り」や「獅子舞・和太鼓鑑賞会」で子ども達が和太鼓や和楽器を通して、日本の文化に触れ親しみ、本物の和太鼓の音やリズムを楽しみ、和太鼓を叩く意欲へと繋げてきた。実際に、和太鼓鑑賞会後の子ども達は意欲も増し楽しく和太鼓を叩いている。ただ、本園の和太鼓教室では、順番に本物の和太鼓を叩くので、自分の順番が回ってくるまでは、職員が手作りしたパチ(紙製)を使ってリズムを床で叩いて練習している。近年、子ども達の体力の低下が懸念されているが、本園の子ども達の握力の低下も感じているところである。本物を感じて出たせっかくのやる気も、しっかり握りしっかり叩けなければ、和太鼓の楽しさも半減してしまう。そこで、今年度は、練習時にも木製のパチを使い、しっかり握りしっかり叩き音を出すことで、より和太鼓を楽しめるように発展させたいと考えている。
-------------	--

計
画
時

7 環境構成例	夏祭り：場所 和光幼稚園園庭・ホール 準備物：和太鼓(ホール用・園庭用の2台) 環境構成：年長児はホールにて、年中児～満3歳児は園庭にて、和太鼓を中心に円形に並ぶ。夏祭りに向けて練習してきた「和光音頭」などを小泉氏による本格的な和太鼓の演奏に乗せて踊る。 獅子舞・和太鼓鑑賞会：場所 和光幼稚園ホール 準備物：「ひさおの会」が準備 環境構成：獅子舞や和太鼓の演奏が鑑賞できるように、小さな年齢のクラスから順に床に座る。年長児のみ椅子に座る。(お誕生日会の配置で座る)獅子舞を怖がる子がいることを想定し、保育者はすぐに寄り添えるようにしておく。和太鼓演奏では、和太鼓に加え、中太鼓、小太鼓、笛、お囃子を設置する。演奏後、さまざまな和太鼓を叩く体験も行う。 和太鼓教室：和太鼓の音色やリズム、叩き方を体験する。自分の順番を待っている間の練習の際も、練習用のパチでしっかり握って叩いてみる。
---------	--

事業
後

7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 夏祭り：和太鼓演奏は、園庭とホールの2か所で行った。ゆったりとした中で踊り、鑑賞できるので、とてもよかった。和太鼓を演奏する際に、昨年は音響が聴き取りにくかったという反省があったので、今年度は大きめの音で流し、演奏しやすかったようだ。 獅子舞鑑賞会：今年度も「ひさおの会」の皆さんをお招きした。一昨年していただいた、ひよっとこのお面を被った演目が子ども受けが良かったので、今年度もお願いしたところ、やはり、子ども達にもわかる内容で、言葉がなくても顔の表情が変わらなくても楽しめる演目に感心した。和太鼓演奏は、今年も子ども達に本物の響きや振動を体験でき、とてもよかった。中太鼓と小太鼓を叩く体験を年少から年長児の全園児が行い、年長児は昨年を思い出し、年少児はワクワクしながら叩く子も多く、来年度の和太鼓教室への良い影響が期待できそうである。
-------------	---

計画時	8 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 夏祭り：今年度も、子どもたちは6月頃から「和光音頭」などを集会後のリズム運動やプールの準備運動として踊る。普段はCDのみで踊っている曲を、夏祭りでは和太鼓教室講師が、本格的な軽快なリズムで和太鼓を演奏して盛り上げる。子どもたちも、和太鼓が加わった演奏に、より楽しく踊る姿が期待できる。年中児も、普段叩いているリズムとは違う和太鼓のリズムを聴くことができ、和太鼓の存在感や楽しさを実感できる機会になる。今年度は、お神輿のお囃子も演奏していただくので、より楽しい雰囲気を味わいながら、お神輿を担ぐ姿が期待される。 獅子舞・和太鼓鑑賞会：獅子舞の演舞に加えて、和太鼓の演奏を聴く。和太鼓の演奏は、数人での和楽の演奏となり、和太鼓の迫力ある音やリズムを聴き、凄いなあと思うと同時に、あんなふうに叩きたいな、自分も頑張ろう！と、毎月の和太鼓に意欲的に取り組もうとする姿が期待される。いろいろな大きさの和太鼓を叩く体験をすることで、太鼓の特徴も知ることができ、日本の文化にもより触れることができる。
	事業後 8についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 夏祭り：今年度も、子ども達は集会やプールの準備体操として、2曲を踊っていた。夏祭り当日は、本格的な和太鼓の軽快なリズムも加わり、お祭りの雰囲気を十分に楽しく踊ることができた。お神輿のお囃子も生演奏だったので、「わっしょい！」の声とともにとても盛り上がった夏祭りとなった。 獅子舞・和太鼓鑑賞会：和太鼓や和楽の演奏では、迫力ある和太鼓の音やリズムを聴き、また体全体で感じ、凄いなあと思うと同時に、あんなふう叩きたいな、自分も頑張ろう！と、毎月の和太鼓に意欲的に取り組む姿が見られた。いろいろな大きさの和太鼓を叩く体験をすることで、太鼓の特徴も知ることができ、日本の文化にもより触れることができた。
	9 効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 日本の伝統文化、伝統芸能に触れる中で、「和太鼓」というものを知り、そして親しみ、おいに興味をもってくれることを期待し、そして、和太鼓教室の教育活動においても、より楽しく和太鼓を叩いてくれるだろう……という思いを込めて、一昨年度よりこの事業を企画した。今年度も夏の盆踊りでは軽快なリズムと楽しい雰囲気を、1月の和太鼓演奏では力強い迫力満点の和太鼓を、子ども達は体験し、「和太鼓」の楽しさを味わうことができた。特に1月の和太鼓演奏を聴いた後の和太鼓教室では、子ども達の意識が変わり、以前よりも大きな音で叩けたり、リズムを合わせようとする気持ちが芽生えた。今年度、和太鼓を力強く叩くために、バチをしっかりと握るという点で、練習用の軽いバチと木製のバチを用意した。目の前にいる子ども達の現状をしっかりと把握し、その姿に寄り添った結果、年間を通して軽いバチを教室では採用したが、あそびの中で木製のバチと練習用バットを出したところ、とても楽しんで遊ぶ姿があったので、来年度は教室内でも使用する機会を検討したい。和太鼓鑑賞は、子ども達にさまざまな体験をさせてくれる良い機会になっているので、ぜひ来年も続けて行いたいと思う。本物体験から生まれる感動から起こる、自分もやってみたい！と思えるような教育・保育をこれからも続けていきたい。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。